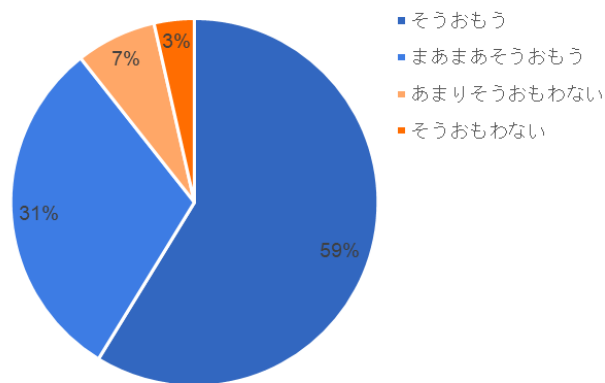
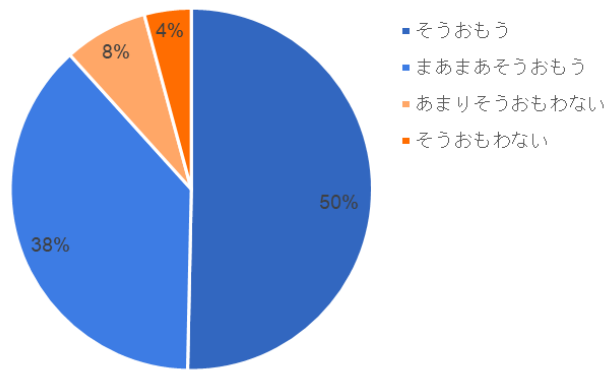


前期児童アンケートの集計結果

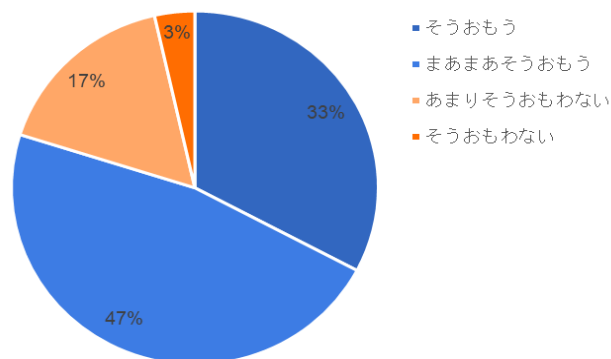
1.学校は楽しいですか



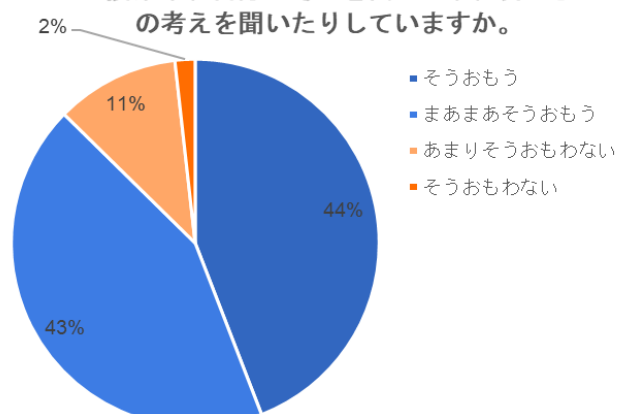
2.いろいろな先生と学習するのは楽しいですか。



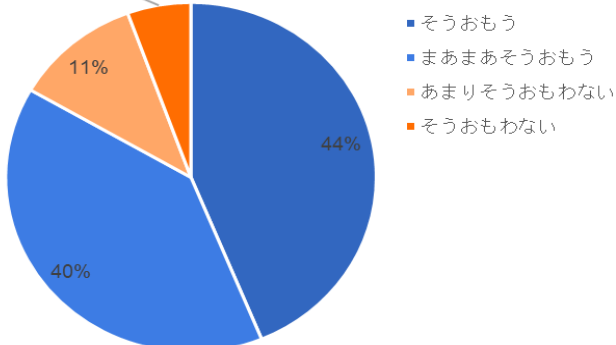
3.授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。



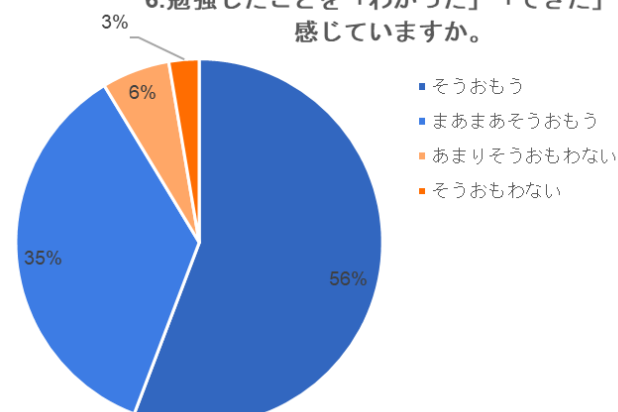
4.授業中、自分の考えを伝えたり、友だちの考えを聞いたりしていますか。



5.「なぜ」「どうして」「やってみたい」と思いながら学習していますか



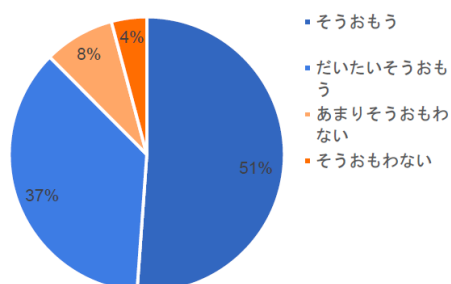
6.勉強したことを「わかった」「できた」と感じていますか。



1,「学校は楽しいですか」の項目について

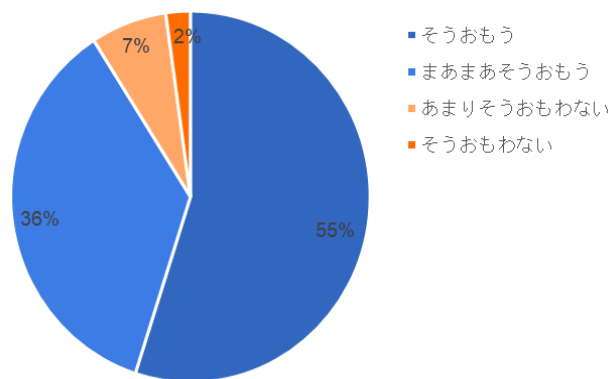
右の図は、昨年度後期の学校自己評価の「学校は楽しいですか」の項目のグラフである。昨年度に比べ、「そうおもう」と「だいたいそうおもう」の割合が増加しており、学校生活を肯定的に捉える子どもたちが増えてきている。その要因として、多くの先生と関わることができる教科担任制等の導入により、授業が「楽しい」と感じている児童がたくさんいることが挙げられる。改めて、授業の重要性を再確認することができる。

1.学校は楽しいですか

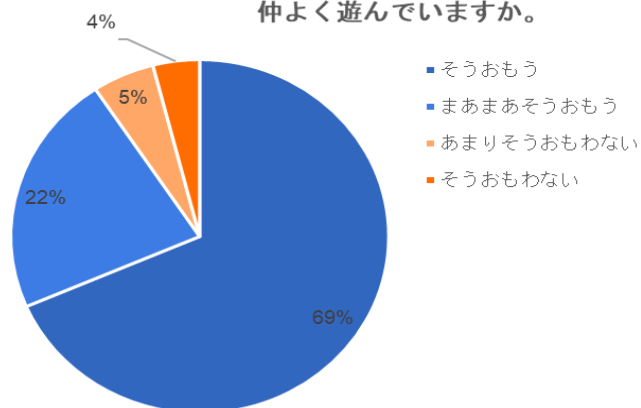


前期児童アンケートの集計結果

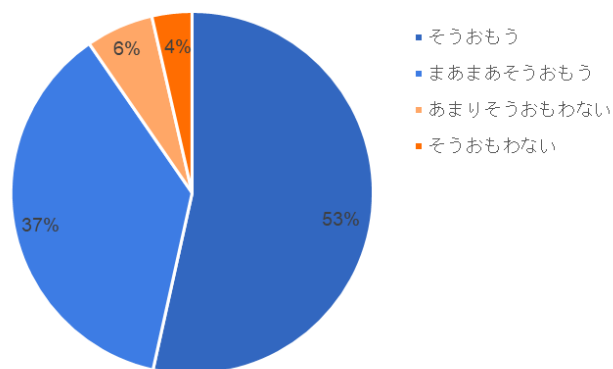
7. クラスみんなで行う活動に、友だちと力を合わせて取り組んでいますか。



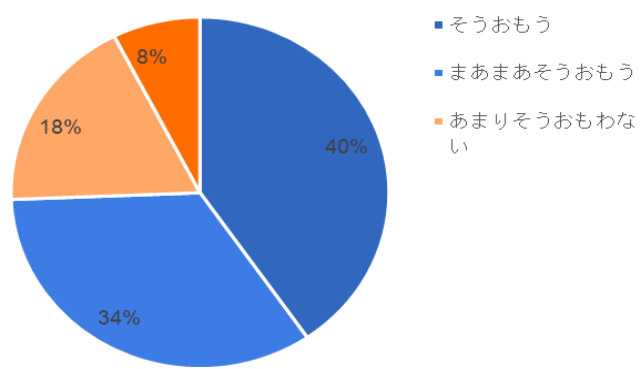
8. なかよしタイムや休み時間に、友だちと仲よく遊んでいますか。



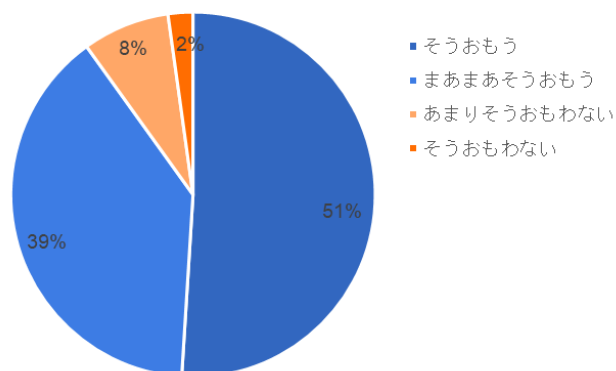
9. 友だちのいいところに、気づくことができますか。



10. 友だちや先生に、自分からあいさつができていますか。



11. そうじを一生懸命やっていますか



10, 「自分からあいさつができています」の項目について

右の図は、昨年度のグラフである。昨年度に比べ自分から挨拶をする児童の割合が6%減少している。

登校指導等での挨拶の様子を見ていても、他者の挨拶を受けて挨拶を返す児童は多いが、先に挨拶となると難しい児童がいることも事実である。グランドデザインにもある、「自分から挨拶」するおもいを育むためにも、職員が挨拶 + 一言を伝えられるようになると変化してくるのではないかな。

9. 友だちや先生に、自分からあいさつができていますか。

